

(倫理審査委員会が開催される日付を記載下さい) 年 月 日

放射線治療科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「放射線治療における局所的脆弱性予測モデルの構築と機能温存治療への応用」への協力をお願い

放射線治療科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2020年1月1日～2025年12月31日の間に、当科において、肺および肝臓の放射線治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日

研究目的・利用方法：

肺および肝臓の放射線治療を受けた後の組織変化を、臓器の受けた線量区域ごとに詳細解析を経時的に評価し、放射線量に対する臓器の脆弱性を予測することを目的とする。治療計画CTおよび経過観察で撮影したCT・MRI・RI画像と、放射線治療を行った臓器の線量分布情報を用い、画像の詳細分析(ラジオミクス)にて正常臓器の微細な変化を解析します。

研究に用いる試料・情報の項目：

診療情報(年齢、性別、診断名、治療歴等)、血液検査データ(CRP、KL-6、SP-D、肝機能等)、臓器機能評価(ICG等)、肺機能検査(FEV1、DLCO等)、酸素化指標、放射線肺炎の重症度評価(CTCAE)、CT・MRI・RI画像、放射線治療計画情報(線量分布、正常臓器の構造)、画像解析により算出されたラジオミクス特徴量。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

倫理審査委員会の承認を得た日以降、速やかに研究を開始する。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、朝日大学病院医学倫理審査委員会において審査、承認され、病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び朝日大学病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈およ

び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。本研究は JSPS 科研費の助成を受けて実施する。

研究責任者

朝日大学病院 放射線部

氏名：谷口拓矢

連絡先

朝日大学病院 放射線部

電話番号：058-253-8001

氏名：谷口拓矢

